

平成 30 年度NPO等による復興支援事業

## いわて震災エッセイ 2019 作品募集のお知らせ

### 《応募規定》

東日本大震災及び震災以降の心の動きや未来に向けての思いなどを綴ったエッセイを募集します。

文字数1200～1600字。応募は1人1篇。(未発表のもの)原稿用紙(400字詰)の郵送または、メールでも受付可。

全て縦書きとし、メールはWordによる添付文書とする。

次の事項を明記した別紙を添付すること。

① 作品題名 ② 筆名(本名) ③ 生年月日・年齢・性別

④ 職業または学校名 ⑤ 住所・電話番号

⑥ 岩手県在住以外の方は、岩手県とのつながりを付記。

### 《応募資格》

岩手県在住者、在住経験者、岩手出身者など岩手ゆかりの方(被災地支援・復興支援のため来県された方も含める)

《応募締切》平成30年10月31日(当日消印有効)

《発表》平成30年11月(予定)

### 《選考委員》

池田 克典氏(前岩手県文化振興事業団理事長)

小山田 泰裕氏(岩手日報社編集局学芸部長)

斎藤 純氏(作家)

高橋 万見子氏(朝日新聞社盛岡総局長)

### 《応募先》

〒020-0878 盛岡市肴町 4-20 永卯ビル 3階

いわてアートサポートセンター内「いわて震災エッセイ2019」係

TEL: 019-604-9020 / kaze@iwate-arts.jp

《主催・問合せ》特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター

TEL: 019-604-9020 / kaze@iwate-arts.jp

## 風のスタジオ 公演情報 (肴町 4-20 永卯ビル 3階)

いわてアートサポートチャレンジシアター

### スワンポート + 気丈な空論 合同旗揚げ公演

スワンポート 第1回公演「宙ぶらりんです。」

作・演出: 藤原 さつき

日時: 9月22日(土) 14:00～/ 18:00～、23日(日) 14:00～

(開場は開演の30分前)

演劇同好会 気丈な空論 旗揚げ公演「シ鬼」

作・演出: 今泉 有雅

日時: 9月22日(土) 15:15～/ 19:15～、23日(日) 15:15～

(開場は開演の15分前)

共通料金: 《2公演通し》 前売 一般 2,000円、当日 2,400円

前売学生 1,600円、当日 2,000円

《1公演のみ》 前売 一般 1,200円、当日 1,500円

前売学生 1,000円、当日 1,200円

【企画に関するお問合せ】 TEL 080-6042-3100 (藤原)

MAIL swan.and.kijou@gmail.com

### 人形劇ユニット あぶないふたり

出演: 西村 和子・つげくわえ / 演奏: 一ノ瀬 季生

日時: 9月29日(土) 14:00～ (開場は開演の20分前)

入場料: 2,000円

【問合せ】 06-6685-5601 (人形劇団クラルテ)



いわてアートサポートセンター

## 鉤屋町界隈イベント情報

### 町家とお八幡さん

#### 【め組 蔵出し展】

め組の半纏(はんてん)、番付等の展示を行います。

日時: 9月8日(土)～15日(土)

10:00～16:00 ※12日(水)は定休日

会場: 大慈清水御休み処(鉤屋町3-15)

協力: 第二分団め組(半纏・番付提供)

#### 【主催・問合せ】

NPO法人盛岡まち並み塾(大慈清水御休み処)

TEL.019-622-8989



発行者 特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター

#### 【本部】

〒020-0874 盛岡市南大通 1丁目15-7 南大通ビル 3階

TEL (019)656-8145 FAX (019)656-8146

E-mail info@iwate-arts.jp URL http://iwate-arts.jp

#### 【肴町事務所・風のスタジオ】

〒020-0878 盛岡市肴町 4-20 永卯ビル 3階

TEL (019)604-9020 FAX (019)604-9021

E-mail kaze@iwate-arts.jp URL http://iwate-arts.jp

〈窓口営業時間〉火・水・金 10:00～18:30 木・土 10:00～17:00

〈施設利用可能時間〉9:30～21:30

#### 【もりおか町家物語館】

〒020-0827 岩手県盛岡市鉤屋町 10-8

TEL (019)654-2911 FAX (019)654-2913

E-mail machiya@iwate-arts.jp URL http://machiya.iwate-arts.jp

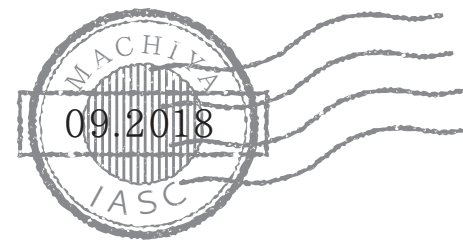
〈開館時間〉9:00～19:00 (最終入館 18:30) ※浜藤ホールのみ利用時は 21:30 まで

〈休館日〉毎月第4火曜(休日の場合はその翌日) 年末年始 12/29～1/3

〈入館料〉無料 ※一部企画展は有料の場合があります。

#### ◎プレイガイドをご利用下さい!

肴町事務所・風のスタジオ窓口と、もりおか町家物語館案内所には、プレイガイドを設置しております。販売手数料5%(消費税込み)で、イベントチケットをお預かりしています。直接ご来館のうえ、職員にお声がけください。



## もりおか町家・風の通信 9月号



当館キャラクター  
町家のマチコちゃん





# 語る 奏でる JAZZ

JAZZ ピアニスト北島貞紀トーク&ライブ

日時 9月21日(金)  
18:30 開場 19:00 開演  
(開場は開演の30分前となります)

場所 もりおか町家物語館 浜藤ホール  
入場料 前売 1,800円 当日 2,000円  
出演 JAZZ ピアニスト 北島貞紀氏  
ゲスト BASS 桜井勝氏・他

《ご予約》

・電話 019-654-2911  
・メール QRコードから受付

《プレイガイド》

カワトク / プラザおでって  
シグアートギャラリー / 当館窓口



メール予約↑  
QRコードはこちら

《もりおか町家物語館市民企画事業》

## 中央アジアからの声が岩手に響く

ユーラシアンオペラプロジェクト・イン・盛岡

日時 10月4日(木) 19:30 開演  
(開場は開演の30分前となります)

場所 もりおか町家物語館 浜藤ホール  
入場料 前売 2,500円 当日 3,000円  
\*10歳未満のお客様は保護者同伴でもご入場いただけません

出演 サインホ・ナムチラク (ヴォーカル、美術家、書家)  
河崎純 (作曲家、演出家、コントラバス奏者)  
三浦宏予 (ダンサー、俳優)

主催: 音楽詩劇研究所盛岡支部  
共催: 盛岡市・特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター



## 町家のお化け屋敷

～ 暗闇の迷宮～

7月27日(金)～8月19日(日)、夏休みの目玉イベントとして毎年恒例のお化け屋敷を開催しました。今年のテーマは「暗闇の迷宮」。薄暗い懐中電灯の明かりだけを頼りに不思議な仕掛けいっぱいの迷宮を進んで行く内容でした。製作陣が「町家のお化け屋敷史上最恐」「昨年の3倍怖い」と息巻いた場内に連日子どもたちの悲鳴が響き渡りました…。

お蔭様で24日間の開催で約2800人のお客様にご来場いただきました。

お化け屋敷と甲子園が終わると夏が終わった感じがしますね…寂しい。お化けのみなさん、球児のみなさん、この夏もお疲れ様でした!

事業報告

## 鉦屋町界隈の手仕事展

職人の技を間近でご覧いただける実演・展示・販売会です

日時 9月23日(日)、24日(月・祝)  
10:00～17:00 (最終入場 16:30)

場所 もりおか町家物語館 大正蔵2階

入場料 無料

出展者 ピッピ手芸教室 / KIDANA / 石澤和竿・毛鉤工房 / SAVEIWATE

主催 盛岡市・特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター

鉦屋町界隈の手仕事展実行委員会

体験ワークショップも  
あります!!  
(まわり灯ろう・くるみカゴ等)

## カフェ DOMA

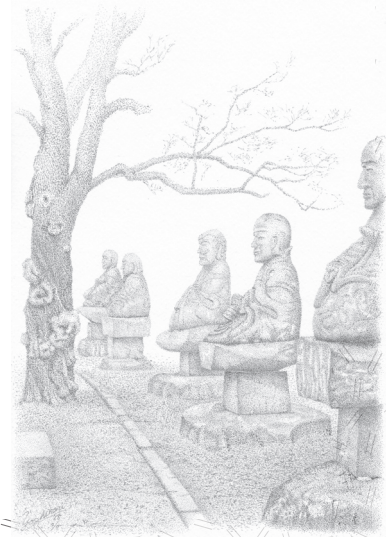
阿部 佳則 ペン画展 2018  
9月16日(日)～10月26日(金)

営業 11:00-16:00

定休 毎週火・水曜日

※営業時間外も、施設開館中は見学可能です。  
※臨時休業の場合もございます。  
営業時間はホームページ等でご確認ください。

お休み・9月2日(日)、9日(日)



## リレーコラム No.29

中央アジアからやってくる驚異の声

一度に二つの声を出すモンゴルの歌唱法、ホーミーは随分知られるようになりました。しかし、モンゴル以上にこれが盛んで毎年大会が開かれる国があります。それはすぐ隣のトゥバ共和国なのです。そこから素晴らしい歌手が、10月4日、盛岡にやってきます。

いや彼女は単なる民謡歌手ではありません。もはや現代テクノロジーのシャーマン=巫女といえるアーティスト、其の名は、サインホ・ナムチラクさんです。

トゥバの大草原に生まれた彼女はフーメイ(二重歌唱法)のみならず、現代的なボーカルテクニックを身につけ、1980年代後半から旧ソ連圏のみならず各地で公演し、西欧の音楽家から驚きを持って受け止められました。

彼女は前衛的ジャズとも、民俗音楽のアンサンブルとも共演できる幅広い表現力を持ち、さらに独自の「書」のような表現をライブでもおこない、また各種電子的メディアを併用した先端的総合的パフォーマンスを世界中で展開してきました。

彼女を招聘したのは、東京に本部を置く「音楽詩劇研究所」、その代表であるコントラバス奏者、作曲家、演出家の河崎純さん。彼もまた、ルネサンス音楽からロック、ジャズ、現代音楽までマルチにこなし、独自の手法で演劇、音楽、朗読、舞踏を構成した舞台を見せてくれます。また彼の特殊な奏法の数々は、見る者の度肝を抜くでしょう。

さらに遠野市出身の三浦宏予さんがダンサーとして盛岡公演に参加。早池峰神楽を習得、出雲大社はじめ各地の祭祀にて舞っています。彼女もまたシャーマニズム始め古代の信仰や民俗芸能、伝承に関心が深く、その滋養を吸収した舞いを見せてくれるでしょう。

中央アジアと日本に通底する人間の営み、そして意識を映し出すアート、パフォーマンス。これは岩手、盛岡の人々への、誰からのでもない不思議な贈り物です。

10月4日、浜藤ホールの公演をどうぞお見逃し無く!

音楽詩劇研究所盛岡支部 金野吉晃